

# 木質バイオマス発電事業に関する意識調査（戸別訪問）の結果について

## 1 調査概要

### (1) 目的

木質バイオマス発電事業に対する意見や要望等を幅広く聴かせるため、4月25日～5月15日まで市職員が戸別訪問し、世帯ごとに意識調査を実施しました。

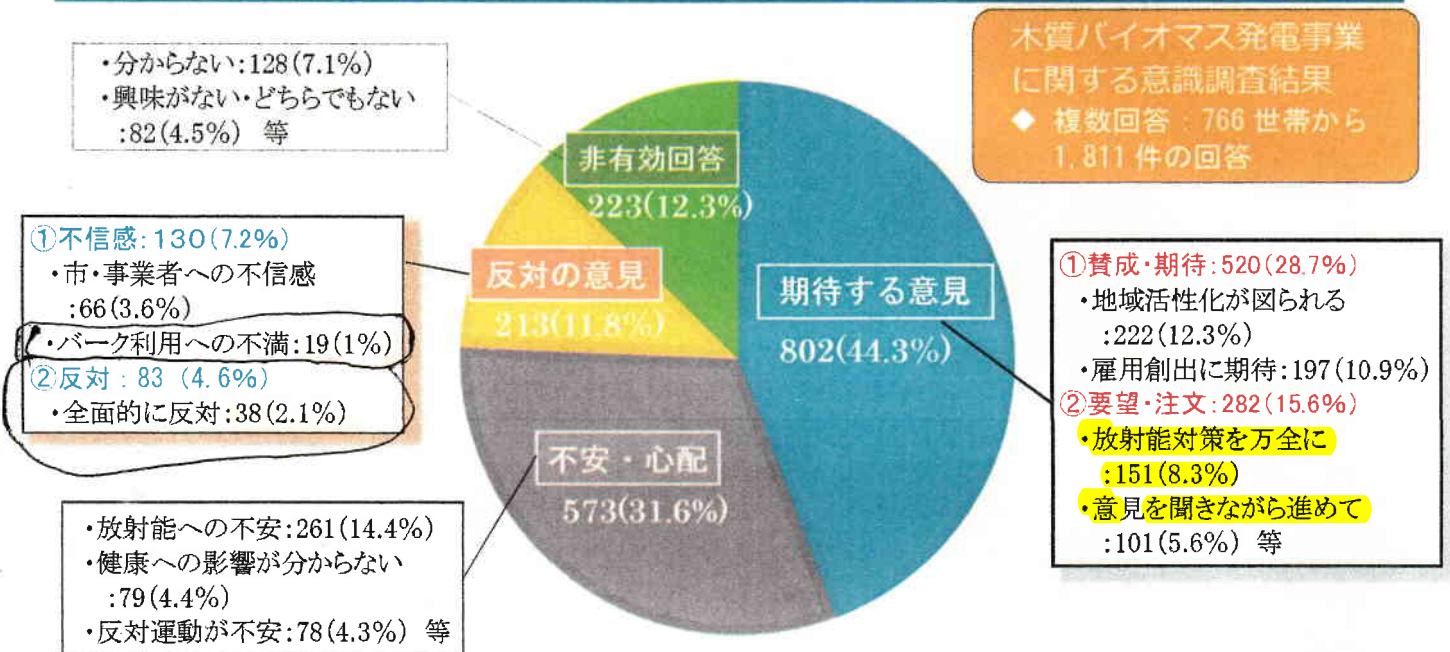
### (2) 調査対象

上大越地区（三洞、**白山**、中部、町郷、上北部行政区） 851世帯

### (3) 回答数

851世帯中、766世帯（同一世帯31を含む）、9割の世帯から回答をいただきました。

## 2 回答結果



## 3 調査結果を踏まえた対応

意識調査の結果では、発電所の建設に期待する意見がある一方で、**放射能に対する不安の声**も多く聞かれたことから、**事業者と市は住民の皆様が安心していただけるよう次の対策を講じます。**

- ① 燃料とする木質チップは放射線量を測定し、**線量が高いものは受け入れない。**
- ② より安心していただくため、**バグフィルターに加え、微粒子を捕捉できる高性能フィルターを設置し、放射性物質の拡散防止対策を万全にする。**
- ③ **焼却灰の保管庫に負圧装置を設置し、搬出時の飛散を防止する。**
- ④ **モニタリングポストを新たに敷地内に設置し、国が大越地域に設置している既存の13基と併せて随時放射線量を監視する。**

住民の皆様にご理解いただくため、**地域の代表者が参画する協議会**を設置し、安全性を確認いただくとともに、ご意見を伺いながら**さらなる安全管理対策**を進めてまいります。